

今日のプール開き集会では、みんなでプールで遊ぶときの約束をしました。夏の間、天気がよければ毎日プール遊びをします！

元気に楽しく遊ぶためにも、毎朝の健康チェックと、プールカードの記入を忘れずをお願いします。

子どもたちは元気そうに見えても、暑さとプールで体は意外と疲れています。おうちではゆったりと過ごせるようにご配慮ください。

＜プールのお約束＞

- ① 走りません。  
マットの上を歩きます。
- ② プールの水は飲みません。
- ③ お友だちが嫌がることはしません。
- ④ オモチャはやさしく使います。

プールOK？  
チェックリスト

□熱は何度ですか？

毎朝、必ず検温しましょう。

□食欲はありますか？

朝ご飯をしっかり食べましょう。  
お腹がすいた状態だと具合が悪くなる可能性があります。

□前日、よく眠れましたか？

睡眠不足や疲れがたまっているとき  
プールに入るのはとても危険です。

□体調はどうですか？

気管支拡張テープ使用時、下痢の症状・風邪薬の服用時は入れません。

□耳のそうじはしてありますか？

耳垢があるとプールに入って膨らんで、聞こえにくくなる時があります。

□手足の爪を短く切りましたか？

爪は伸びすぎているとお友だちを傷つけてしまうことがあります。

心配な点や、わからないことがあれば、いつでも声をかけてください。



プールに入れる？ 入れない？

症状が治まったあともウイルスが排せつされる病気があり、元気に見えても注意が必要です。プールに入る際の注意点をあげましたので、目安にしてください。なお、「入れるかどうか」は、園でのプールあそびの状況を医師に伝えうえて、相談してください。

アレルギー性結膜炎	○	症状が落ち着いていれば、プールOK。
滲出性中耳炎	○	定期的に耳鼻科を受診し相談を。症状が安定していればプールも可能なことが多いが、発熱や耳の痛みを訴える場合、プールは禁止。
アレルギー性鼻炎	△	他に症状がなければプールはOK。
水いぼ	△	肌同士が直接接触したり、おもちゃを介してうつることがあるので注意。
頭ジラミの寄生	△	登園、プールは可能だが、髪の毛の接触で感染するので、早急に駆除をする。
手足口病	△	症状が軽快してからも約一ヶ月は便や唾液からウイルスが排泄される。ただ日常生活で感染する機会のほうがずっと多いため、本人が元気で登園できるならプールもOK。
ヘルパンギーナ	△	回復してからも約一ヶ月は便や唾液からウイルスが排泄されるが、発熱、のどの痛みがなくなり食欲が戻って登園できるなら、プールもOK。
とびひ	×	プールの水ではうつらないが、水疱やびらんがあるときには、水中で皮膚がふやけると悪化しやすい。本人の皮膚の保護のためにプールは避ける。
急性中耳炎	×	症状がある間は、プールに入れない。
外耳炎	×	プールは避ける。傷が治り、外耳の炎症が治ればプールOK。
副鼻腔炎		鼻の奥の痛みや黄色い鼻水が出ている間は、プールを避けたほうが良いので、医師と相談を。

＜安全に楽しく遊ぶために＞

- プール遊びは、午前9時30分の気温+水温が55度に達しているときに行います。
- 気温、水温、水深、残留塩素濃度を測り記録しています。
- 必ず監視員をたてています。監視員は遊びに参加せず、子どもの変化を見逃さないよう監視に徹します。
- 万が一の事態に備え、職員は救急救命講習を受けています。園にはAEDが設置されています。